



理系学生向け  
キャリアロードマップ

# 伝統産業 編

福井県交流文化部定住交流課

私たちと一緒に、  
福井の未来を創ろう



その他の専攻の  
情報はコチラ



福井県交流文化部定住交流課

## ◆ アイビス高島で働く人のキャリアロードマップ

**case1** 〈22歳〉入社。加工課へ配属。先輩社員の指導のもと技術的業務を行うための基礎を習得する ▶ 〈25歳〉熟練を要しない作業を自主的に進めることができる ▶ 〈30歳〉自身の技術・知識・経験をもって後輩社員の指導・教育を行う ▶ 〈33歳〉作業管理・品質管理・工程管理のスキルアップを図る ▶ 〈35歳〜〉スキルを磨き役付きへ昇進

**case2** 〈22歳〉入社。設計課へ配属。眼鏡の基礎を学ぶため各現場での作業実習を行う ▶ 〈24歳〉眼鏡の基礎を理解し、CADの基本操作を学び先輩社員指導のもと簡単な図面が作成できる ▶ 〈27歳〉眼鏡の作成方法に則した設計を行うことができる ▶ 〈32歳〉フレーム形状や必要とされる作業工程から判断し、全体を見通し図面の作成を行う ▶ 〈35歳〜〉スキルを磨き役付きへ昇進

### キャリアの一步を踏み出した 若手社員にインタビュー



いしだ たいすけ  
**石田 大祐さん**

**Profile**  
1993年生 鯖江市出身  
室蘭工業大学 大学院工学部  
環境創生工学系専攻卒  
2019年入社 金型課所属

福井に帰って、  
眼鏡製造の可能性に挑戦中。

**学** 生時代の専門は微生物学でしたが、「福井に帰り、製造業で違うことにチャレンジしたい」と、地元鯖江の眼鏡製造会社に入社しました。ロボットなど新技術の導入に積極的な点と、ほぼすべての製造工程を内製化している点に、モノづくり企業としての可能性を感じたそうです。眼鏡の品質に重要な役割を果たす金型製造部門に配属され、マシニングセンタを用いた部品加工や、ロボットによる研磨作業などを担当。全く未経験な仕事内容ですが「福井高専時代に経験したプログラミングの知識が、加工プログラム作成に役立っています」。さらに「マスター」と呼ばれる金型の設計、製造も担当しています。従来は工程ごとに分業化され熟練工の技術に頼っていた鯖江の眼鏡製造を革新し、作業の自動化と製造の効率化に携わっていることに仕事の魅力を感じています。また、眼鏡という身近な生活必需品を製造していることに、やりがいも見いだしています。今後は「いろいろな部品のマスターの作製や加工ができるようになりたい」と語り、「日々、新しいことにチャレンジできるのがモノづくりの楽しさです」と目を輝かせます。

### 就活生へのADVICE 幅広い視野で、仕事選びを。



これといって入社したい企業が定まっていなければ、自分の専門分野にとらわれず、興味を持った企業については一度調べてみたり、会社説明会に足を運んで話を聞いたりしてみるとよいと思います。そうすることで視野が広がって、仕事の選択肢も増えてくると思います。一方で勤務地や待遇面など、自分にとって譲れない条件をしっかりと定めておくことも、ミスマッチのない企業選びのために押さえておきたいポイントです。

目指す学生へ  
眼鏡業界を

新しい発想で、  
製造の革新にチャレンジ。

当社では既存の職人技を受け継ぎながら、新規技術の導入にも挑戦しています。これからの眼鏡製造では、材料などの専門知識を備えつつ、眼鏡業界の常識にとらわれない新しい発想ができる方を求めています。

専務取締役 高島 功一さん

#### 石田 大祐さんの勤務先

株式会社 アイビス高島

〒916-0081 福井県鯖江市石田下町36-3-5 ☎ 0778-51-7887 □ <http://www.ibis-takashima.co.jp/>  
主な事業内容 眼鏡枠(主にメタルフレーム)の製造

## ◆ フクイボウで働く人のキャリアロードマップ

**case1** 〈22歳〉入社。生産課配属。丸編み生産基礎と切替作業を習得する ▶ 〈24歳〉開発室へ異動。メーカー担当者と打ち合わせを重ねながら、市場要求品質、機能を具現化。また、自分のアイデアも提案し新品番開発へ携わる。さらに、自社開発品番もメーカーに提案する業務を重ねながら実力をつける ▶ 〈32歳〉営業課へ異動。製造と製品知識を十分身に付け、メーカーとの商談へ。品質と製造知識が備わっているため、納期を即答でき、信頼を得る ▶ 〈35歳〉係長昇格

**case2** 〈22歳〉入社。本社開発配属。繊維全般の基礎知識と品質について学ぶ。工程管理も任せられるようになり、紡績糸への知識を深める ▶ 〈33歳〉係長昇格。部下の育成に関わりながら、メーカー技術者との打ち合わせ、ユーザー訪問等により全体的な視野を広げられるようになる ▶ 〈37歳〉課長代理昇格。昇格により、課の予算編成等にも携わり、さらに責任のある業務へ ▶ 〈40歳〉課長昇格

### キャリアの一步を踏み出した 若手社員にインタビュー



なか やま よう へい  
**中山 陽平さん**

**Profile**  
1998年生 福井市出身  
福井工業大学  
環境情報学部経営情報学科卒  
2020年入社  
テキスタイル事業部生産課所属

自分の作った生地が、衣類として  
多くの人の手に渡っています。

**大** 学時代は経営学を専攻しましたが、授業の中で聞いた「将来はAIに取って変わられない仕事につくべき」との言葉を思い出し、フクイボウで繊維に関わる仕事を選びました。技術職としてテキスタイル事業部に配属され、丸編機という機械を用いて円筒状の編生地を製造する工程を担当しています。約一年の勤務を経て、機械に糸をセットし、切れた糸を繋ぎ、できあがった生地を運ぶなどの基本的な製造の流れを身に付けました。次のステップとして習得を目指しているのが、生地の製造の前に設計書に基づいて機械のセッティングをする「切り替え作業」です。柔らかくて動きやすい生地の製造では、顧客に求められる品質を実現するために、最後には機械の部品や編み針などを細かく調整する、人の手による作業が不可欠です。作業の正確さやスピードを高めるため、毎日の業務の中で、先輩社員に付いて学びを続けています。スポーツウェアやスーツなど、製造した生地が最終製品となっているのを量販店などで目にした時に、仕事のやりがいを実感。工場に身に付けた技術や製造の知識を生かして、将来は開発や営業などの職種へのキャリアアップも期待されています。

### 就活生へのADVICE 自分のキャリア設計に見合った企業選びを。



志望した企業が公開している決算書などを比較し、業績の推移や経営状況を確認しました。私は一つの職場で長くキャリアを積んでいきたかったので、仕事内容に加え、将来にわたって安定的なことも、企業選びの際に重視しました。また、簿記しか資格を取得しなかった自分の反省も踏まえ、取れる資格は積極的に取得してください。履歴書などに記入できた資格は、どれだけの言葉を尽くすよりも自分の強みとして訴えられると思います。

専攻した学生へ  
繊維業界を

日本の繊維には、  
まだ伸びしろがあります。

繊維はアイデア次第でまだまだ伸びしろがあり、生き残れる要素が十分にある産業です。スピード感を持ってアイデアを実行に移せる柔軟性を持つ人材と一緒に、新しい製品や売り方を形にしていきたいと思っています。

管理部 部長 田中 秋彦さん

#### 中山 陽平さんの勤務先

フクイボウ 株式会社

〒918-8533 福井県福井市桃園2-1-15 ☎ 0776-33-8375 □ <http://www.fukuibo.co.jp/>  
主な事業内容 化合繊維紡績糸製造、丸編み生地製造、仮撚り糸製造